

アクティブ女性が切り拓く レジャートレンド

38

第 回

「女子会」をキーに 広い年齢層を集客 「O'shabeliese(オシャベリーゼ)」

マーケティングライター・牛窪 恵

「合コンより女子会のほうが楽しい」
ある女性誌の調査で、20歳代、30歳代
女性のなんと89%がそう答えた
(2009年「OZ m a i e r」調べ)。筆
者がインタビューしても、似た答えが
返ってくる。
いまや同年代女性(未婚)の65%が
「彼氏はいない」と答える時代(09年オ
ーネット調べ)。カップルのみならず
「女同士」の顧客も意識しないと、集客
はむずかしい。

そこで最近、人気急上昇のキーワー
ドが「女子会」だ。居酒屋の「笑笑(株)
モンテローザ」や、フリーペーパーの『ホ
ットペッパー』(株)クルート)は、昨年
ごろから女子会をキーに、本腰を入れ
て集客に乗り出した。
東京・新宿副都心の老舗ホテル「京王
プラザホテル」もその一つ。今年4月
1日から、平日限定と銘打った女子会
プラン「O'shabeliese(以下、オシャベリ
ーゼ)」の展開をスタート。同ホテル営



1

業戦略室の鄭守娟(ジョン・スヨン)氏
によると、「女子会」は最強ワードだっ
た」とのこと。

「女子会」のキーワードに合致して、テ
レビや雑誌で取り上げられるパブリシ
ティ効果が大きかった。また利用客
も、自らインターネットで「女子会」と
キーワード検索してオシャベリーゼを
探し当ててくれる。名前のつけ方ひと
つで、販売結果が変わることを実感し
ました(鄭氏)。

「女子会プラン」を展開する競合ホテル
は複数ある。が、ほとんどは通常のツ
インルームにエキストラベッドを入れ
て3人利用という形式。多少の息苦し
さを感じる部屋もある。

これに対し、京王プラザホテルの強

みは、4人で悠々泊まれる「4ベッドル
ーム(ラグジュアリーフォースルー
ム)」を10室も装備していること。

04年度、2部屋のツインルームを1
部屋(50㎡)にし、ダブルバスルームで
ベッドが4台並ぶ開放的な空間を実現
した。筆者もリニューアル直後に見せ
てもらったが、真ん中のソファを挟ん
で二つずつベッドが向かい合って並ん
でおり、修学旅行さながらの気分にな
れる。「オシャベリーゼ」の名のとおり、
一晩中おしゃべりを楽しみたい間
取りなのだ。

もつともこの4人部屋は、GWや夏
休み以外の平日は埋まりにくい部屋だ
という。「女子会」という付加価値を
つけて販売したのも、そもそもこの部
屋の平日の稼働率を上げるためだっ
た」と鄭氏。

新宿の京王プラザホテルといえば、
客室数1400室以上、レストランも
17施設を誇る巨大ホテルだ。通常な
ら客単価を高めようと、ホテル内の施
設を利用してもらえるプランを提案し
がち。だが、「オシャベリーゼは、従来
とまったく逆の発想から生まれた」と
のこと。

「これまでのレディースプランのよう
に、あれもこれもくっつけて、といった
特典を極力そぎ落とし、女性たちが真

1.....上層階から眺める夜景の非日常感もおしゃべりを盛り上げる
2.....ベッドが4台並ぶ開放的な空間で、「女子水いらず」を満喫

に求めるものは何かを徹底して考えたと鄭氏は言う。

そこでたどり着いたのが「おしゃべり」。素泊まりに近いプランでも、あえて「おしゃべり」女子会」と提示すれば、女性たちは共感してくれる。当初は6月までの2か月限定だった同プランも、好評のため、今年末まで期間を延長したそうだ。

無駄をそぎ落とした廉価と「女子会」のワードに幅広い年齢層が共感

男性は「おしゃべりなんて、家やカフェで楽しめばいいじゃないか」と思ってもお茶の世話など、誰に気兼ねすることなく、女同士でおしゃべりしたい。



それも、帰り支度や化粧崩れを気にすることなく話しつつつけられる「泊まり」であれば、なおうれしいのだ。

オシャベリーゼで利用するラグジュアリーフォースルूमには、同ホテルスタッフの提案で「何がでるかなサイコロ」を置いたという。人気テレビ番組『きげんよう』（フジテレビ系）でおなじみのサイコロで、目には「恋の話」ちよつとエッチな話」初めて〇〇した話」などと書かれている。

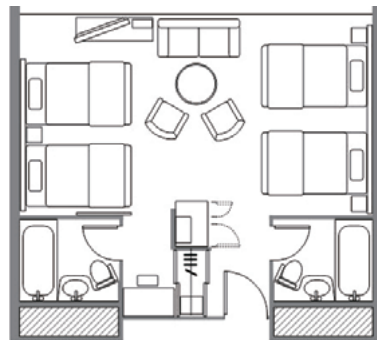
「久しぶりに会うお友だち同士、話しの糸口にもなるし、あえて誰でも知っているベタな小道具にしたため、元手もかからずに大好評です」と鄭氏。

無駄をそぎ落としたことにより、プランの利用料金は、4人1部屋で1泊1人7500円（税・サ込）と、かなり割安だ。鄭氏いわく、「仕事帰りに『思い立ったら予約は前日でOK』といった気軽さも受けているとのこと。

チェックインの時間を「18時」と遅い時間帯に設定したのも特徴だ。「都内在住者が（平日の仕事帰りなどに）シテイホテルを利用するなら、夕方から部屋に入ればいいのではないかと考えた」と鄭氏。

予約した女性たちを見ても、荷物をフロントに預け、チェックインまで近くでショッピングなどを楽しんでいるよ

【図表1】ラグジュアリーフォースルूम平面図



うだという。なにしろ新宿の真ん中と立地がよいため、時間潰しには事欠かない。早い時間から部屋に入るより、18時まで思い思いに楽しむことで、むしろチェックインまでに気分が盛り上がる。その間に新しい洋服でも買って「どう？」と、仲間に試着して見せることもできる。このあたりも、女ゴコロをうまく掴んだといえるだろう。

「女子」と聞くと、「若い女性だけを指す言葉」と捉えるかもしれない。だが、いまや上の年代の女性も、自分たちを「女子」と呼ぶ時代。アラフォー（アラウンド40、40歳前後）に人気の女性誌『STORY』（光文社）は、「いつまでも

【図表2】京王プラザホテル 平日限定女子会プラン「O'shabeliese」概要

プラン期間	2010年4月1日～2010年12月30日まで ※休前日を除く
事業主	（株）京王プラザホテル http://www.keioplaza.co.jp/
所在地	東京都新宿区西新宿2-2-1
チェックイン／チェックアウト	18時以降／翌10時
プラン対応客室	本館31、32階 ラグジュアリーフォースルーム（50㎡）
プラン対応客室数	10室
プラン特典	室内にDVDプレイヤー、女性用基礎化粧品セット（人数分）、「何がでるかなサイコロ」用意
利用人数	3、4人
プラン料金※	【4人1室】1人7,500円 【3人1室】1人8,500円
利用客組数	月平均20組
利用客層	20歳代、30歳代～70歳代の女性全般

※料金はいずれも1泊、サービス料・消費税・宿泊税込み
※インターネットによる販売のみ

『夢見る女子』でいよう」との特集を組んでおり、また、10月末創刊のアラフォー向け雑誌『GROW』（宝島社）も、「40代女子力」をコンセプトに掲げる。「女子会」と銘打つても、ターゲット年齢を狭めることにならないのだ。

オシャベリーゼの利用者も、20歳代～70歳代と幅広い。友人同士に限らず「娘・母・祖母」での三世代利用や、シニア女子の「プチ同窓会」といった宿泊も目立つと鄭氏は言う。

無駄をそぎ落とす、その逆転の発想から生まれたオシャベリーゼ。女ゴコロに配慮すれば、まだまだ提案できるコンセプトは眠っていいそうだ。

牛窪 恵（うしくぼ めぐみ）

マーケティングライター。㈱インフィニティ代表取締役。主な著書に『草食系男子「お嬢マン」が日本を変える』（講談社）、『独身王子に聞け!』（日本経済新聞出版社）ほか。9月「たどろちん夫婦のリアル」（日本経済新聞出版社）が発売に。